

2011 Abstracts for Specially Funded Research

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: SESEKURA, Tamana メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/3858

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



母子保健領域における子育て・子育て支援モデルの構築 —心理学的アプローチを中心に—

短期大学部 キャリアデザイン学科 瀬々倉玉奈

1. はじめに

地域の保健センターでは、長い間、乳幼児死亡率の減少や障害のスクリーニングなどに主眼が置かれてきたが、近年になり、その中心を地域における子育て支援全般にシフトさせている。その背景には、2001年度に厚生労働省が推進を開始した10年間の国民計画「健やか親子21」(その後2014年度まで延長)がある。この計画において提示されている課題の一つが「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」であり、その評価指標は、「親子のこころの問題に対応できる技術を持った小児科医」の割合等、医師の増加率である。具体的な方策例の中には、心理職の活用も含まれているものの、特に強調されているものではない。

筆者は、「健やか親子21」開始時に、全国約500ヶ所の保健センターの保健師と心理職を対象に実施した調査(瀬々倉.2002 以下【2001調査】と呼ぶ。)を実施した(回収率:保健師からは59.8%、心理職からは12.0%)。その結果、「常勤の心理職がいる保健センターの割合は7.1%であるが、何らかの形で心理職が関わっている割合は57.5%である」こと、「保健師は心理職と共に仕事をする過程で心理職の役割を理解していく」こと、「若い世代・経験年数の浅い心理職のうち学生時代に臨床心理学を中心に学んだ者が他領域の心理学を学んだ者よりも有意に困っている」ことが明らかになった(瀬々倉.2010)。

筆者は、「健やか親子21」が当初終了する予定であった2011年度に、【2001調査】とほぼ同様の調査を実施した(以下【2011再調査】と呼ぶ。)ので、その概要と主な結果を本稿において報告する。

2. 実態調査の方法

調査対象: 全国から無作為抽出した1,365ヶ所の市町村保健センターに勤務する、母子保健担当の保健師と心理職とを対象とした。この際、倫理的観点から、2011年3月に発生した大震災の被災地は除外した。

調査方法: 保健師用・心理職用の質問紙(内容は共通)1通ずつと切手を貼付した返信封筒2枚を同封するという形式の郵送調査による。

有効回答: 保健師615名(有効回収率45.1%)の回答、心理職105名(有効回収率7.7%)の回答を得た。

3. 調査結果と考察

性別:【2001調査】では、保健師95.3%・心理職91.7%が女性であり、【2011再調査】では、保健師95.0%・心理職88.6%が女性であった。母子保健に関わる保健師や心理職の大半が女性である状態は、10年経過しても大きくは変化していない。「父親不在」がいわれて久しいなか、母子を支える専門職もほとんどが女性という現状は、より豊かな経験を子どもに提供するという観点からも、今後は改善・工夫をしていく必要がある。

勤務形態:【2001調査】では、保健師97.0%・心理職25.0%が常勤、【2011再調査】では、保健師93.8%・心理職28.6%が常勤であり、この10年間で両者の勤務形態に大きな違いは認められない。保健センターにおける中心スタッフは保健師であり、その常勤率が高いことは当然である。一方、「健やか親子21」の課題「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」との関係を考えるならば、常勤の心理職の占める割合が10年を経過しても微増に留まり、3割にも満たないことは問題である。

常勤職が増加しない原因の一つとしてあげられるのは、心理職が実践する具体的な支援モデルの欠如であると考えられる。今回の調査結果をもとに引き続き心理職の支援モデルの構築を目指したい。

<文献>

厚生労働省ホームページ(2012)「健やか親子21」の推進について。 http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshi-hoken/sukoyaka-01.html

瀬々倉玉奈(2012)「健やか親子21」と母子保健領域における心理職の役割。日本子育て学会第4回大会論文集。Pp.84-85

瀬々倉玉奈(2010)母子保健領域における心理職の役割に関する全国調査。大阪樟蔭女子大学人間科学研究紀要。第9号。大阪樟蔭女子大学学術研究会。Pp.247-260

瀬々倉玉奈(2002)地域での子育て・子育て支援—保健センターにおける心理職の役割に関する実態調査報告—。日本小児保健協会第49回学術集会講演集。Pp.124-125